

大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン

栃木県剣道連盟

- (1) 次のことにはあてはまる者は大会に参加できない。
 - ① 発熱、咳、咽頭痛のような風邪症状があるなど、体調の良くない者。
 - ② 同居家族や身近な知人に、感染者または感染の疑いのある方がいる者。
 - ③ 過去14日以内に渡航歴のある者や、感染流行地域を訪れた者。
 - ④ 基礎疾病のある者。(糖尿病、心不全、慢性閉塞性肺疾患、透析を受けている、抗がん剤などを用いているなど)
- (2) 大会当日に自宅で検温を行い、「栃木県総合運動公園武道館団体利用に関する感染防止対策チェックリスト(別紙1)」に必要事項をみれなく記入して持参する。
- (3) 試合時には面マスク、それ以外(開閉会式中、試合開始までの待機中等)は家庭用マスクを着用する。ただし、試合時以外でも面マスクを着用する予定の者は、面マスクのみの持参でも可とする。
- (4) 係員の指示に従い、マスクを着用して入館する。なお、開場時刻以前に入館することはできない。
- (5) 選手並びに関係者以外(例えば、付き添いや見学者)は入館できない。
- (6) 入館時に検温と手指消毒を行う。
- (7) 着替えは自宅で済ませておくことが望ましい。やむなく館内の更衣室等を利用する場合は、蜜を避けて交代で使用する。
- (8) フィジカル・ディスタンス(人と人の距離、最低でも1メートル、できれば2メートル)を常に保つようにする。
- (9) こまめな手洗い、うがい、アルコールによる除菌消毒に努める。
- (10) 大声での会話、応援等は控える。
- (11) 全剣連ガイドラインに従い、試合者は鏝競り合いを避ける。やむを得ず鏝競り合いとなった場合は、すぐに分かれるか引き技を出し、掛け声は出さない(引き技時の発声は認める)。審判員は鏝競り合いを解消しない場合は、ただちに「分かれ」を宣告する。
- (12) 持参した物、ごみは必ず持ち帰る。
- (13) 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者(栃木県剣道連盟)に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する。